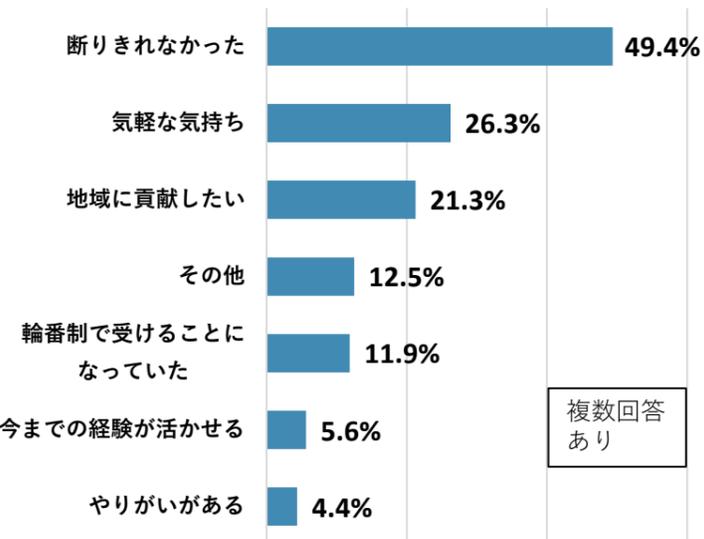


保活を引き受けた動機

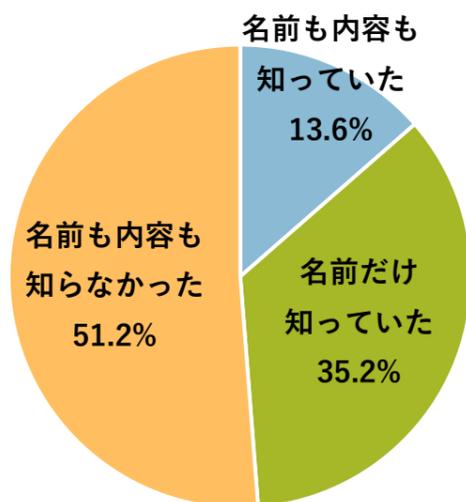
Point5 「断り切れなかった」 5割、
「地域に貢献したい」 2割



「断り切れなかった」が49.4%で最も多く、次いで「気軽な気持ち」26.3%、「地域に貢献したい」21.3%となっていました。

保活になる前からの認知

Point6 保活の認知度は約5割



「名前も内容も知っていた」または「名前だけ知っていた」人は全体の48.8%となっていました。

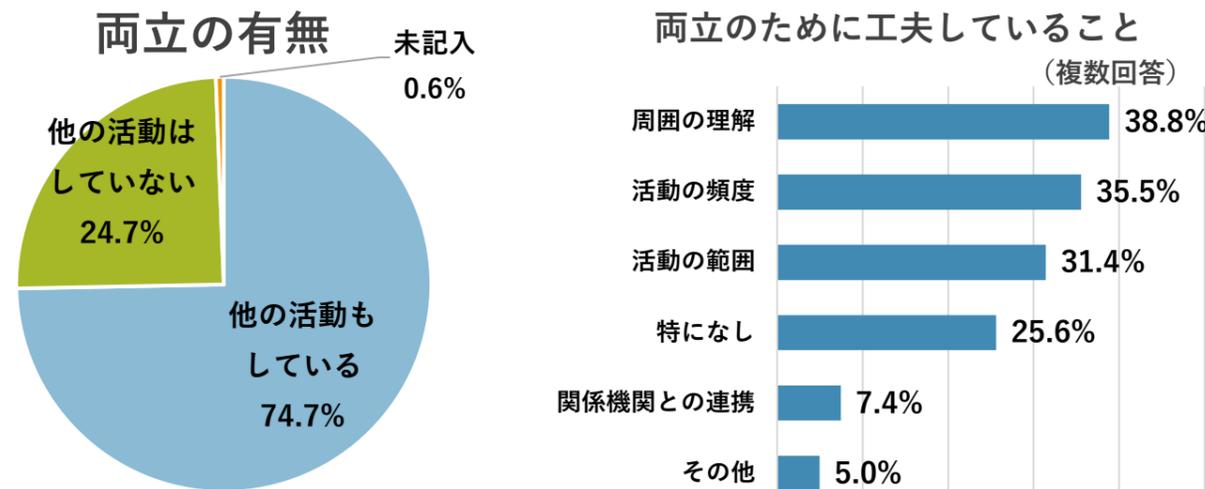
令和5年度 神奈川区保健活動推進員会 活動状況に関するアンケート 調査結果

令和6年5月31日 福祉保健課

令和6年1月30日～2月29日に神奈川区保健活動推進員を対象とした活動状況に関するアンケートを実施しました。
配布数：195枚、回収数：162枚（回収率83.1%）
いただいたアンケートを基に、現在の活動状況について資料にまとめました。
今後の活動にご活用ください。

仕事等しながらの活動の工夫

Point1 7割以上の推進員が仕事等と両立あり
生活と両立のための工夫は「周囲の理解」



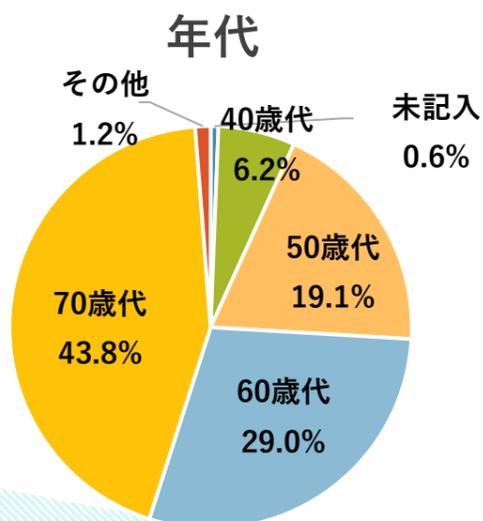
仕事（地域団体の役員含む）や育児、介護をしながら活動している人の割合は74.7%でした。両立のために工夫していることは、「周囲の理解」が最も多く、次に「活動の頻度」、「活動の範囲」となっていました。

推進員さんの声

- ・ 家族の協力と理解が不可欠。・ 仕事や家族の介護が最優先だが、周囲に理解してもらっている。
- ・ 負担にならない程度の活動に参加。・ 出来る時に出来る範囲で無理をしない。
- ・ 仕事や子どもの予定と重ならないように調整している。
- ・ 保活で得た知識を、町内会の集まり等他でも活用。・ まず自身が健康になることが大事。

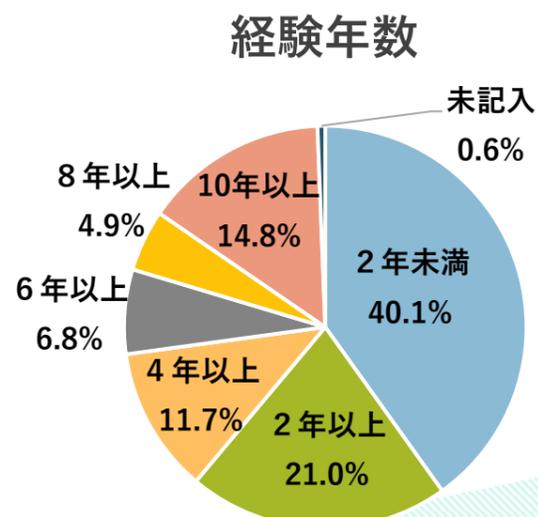
アンケートに回答いただいた推進員の状況

Point7 70歳代が全体の4割、
60歳代が3割



回答者は70歳代が43.8%で最も多く、次に60歳代が29.0%、50歳代が19.1%となっていました。

Point8 4割以上が
2年未満の経験年数



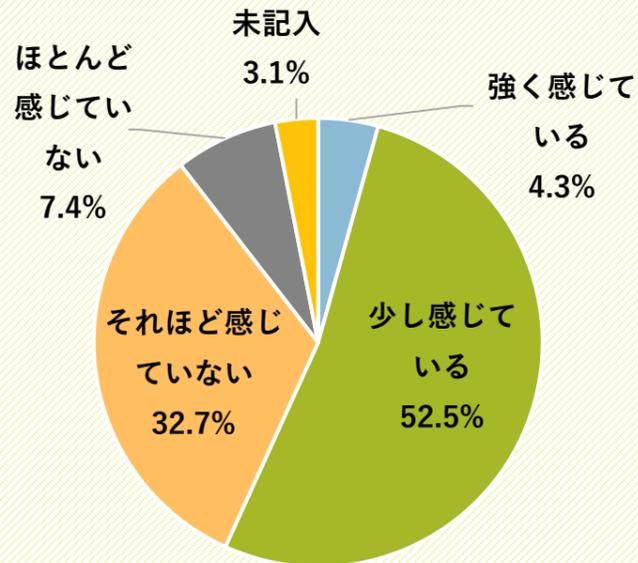
経験年数は「2年未満」が最も多く40.1%となっていました。次に「2年以上」21.0%、「10年以上」14.8%となっていました。

活動の「やりがい」

約6割の人が「やりがい」を感じている
「仲間と協力して活動するのは楽しい」

Point2

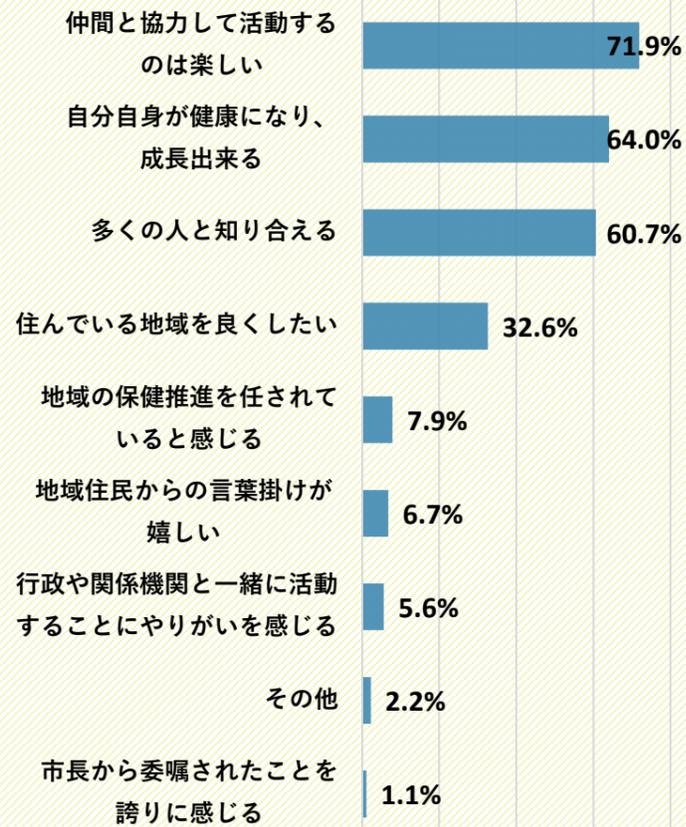
やりがいの有無



活動にやりがいを「強く感じている」または「少し感じている」人は全体の5割以上でした。やりがいを感じる理由は「仲間と協力して活動するのは楽しい」が71.9%で最も多く、次いで「自分自身が健康になり、成長出来る」が64.0%、「多くの人と知り合える」が60.7%となっています。

やりがいを感じる理由

(複数回答)

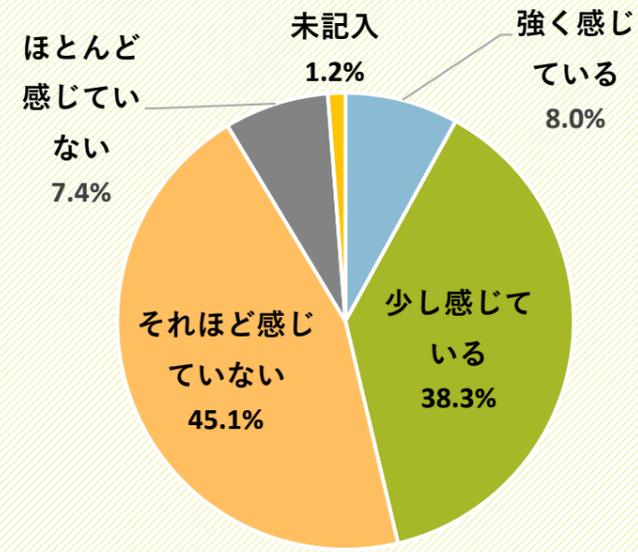


活動の「負担感」

約4割の人が「負担感」を感じている
「役員のなり手が少ない」

Point3

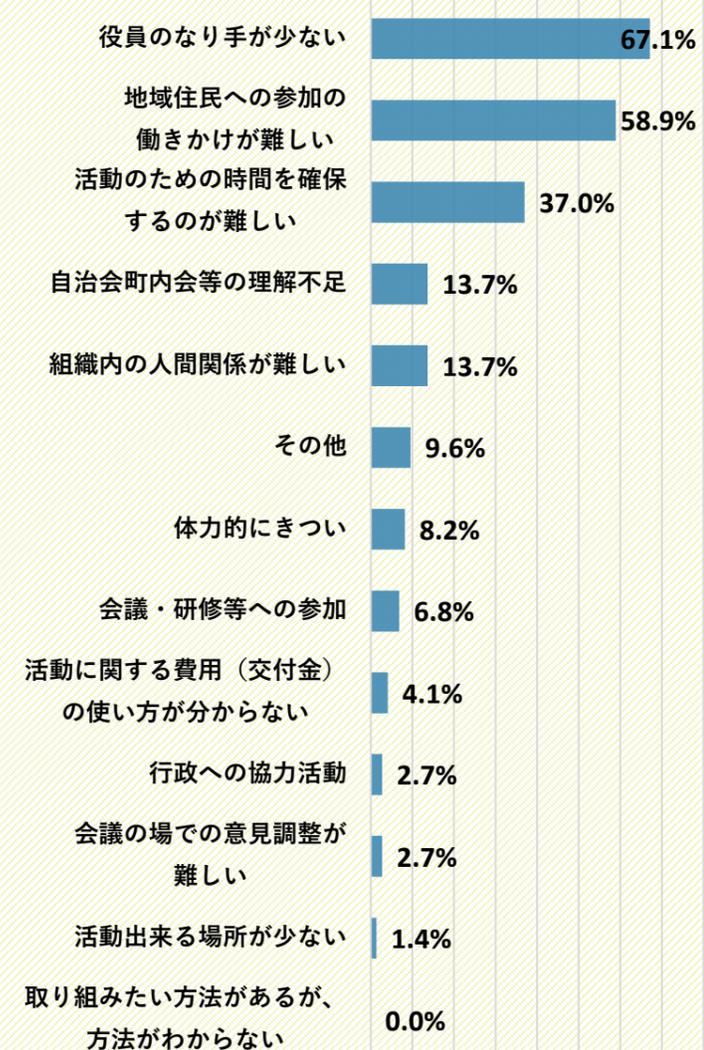
負担感の有無



活動に負担を「強く感じている」または「少し感じている」人の割合は46.3%でした。負担を感じる理由は「役員のなり手が少ない」が67.1%で最も多く、次いで「地域住民への参加の働きかけが難しい」が58.9%、「活動のための時間を確保するのが難しい」が37.0%となっています。

負担感を感じる理由

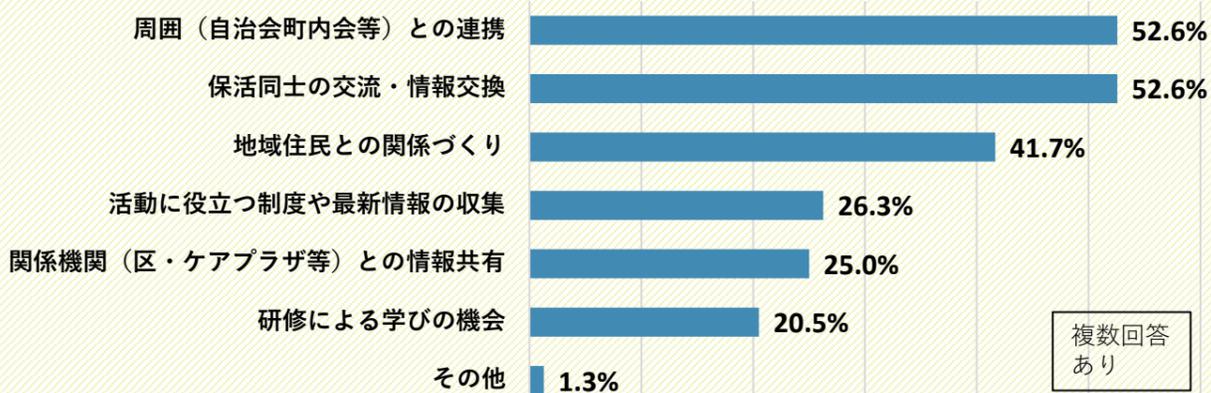
(複数回答)



保健活動推進員が大事にしていること

5割以上の人々が「周囲との連携」と「推進員同士の交流・情報交換」を大事にしている

Point4



「周囲(自治会町内会等)との連携」が52.6%、「保活同士の交流・情報交換」が52.6%と最も多く、次いで「地域住民との関係づくり」が41.7%となっています。

活動しやすくなるためのアイデア

推進員さんの声

- ・高齢者向けになりがちなので、活動の目的を明確にし、幅広い年代に向けた保健活動が必要。
- ・多くの人に参加してもらえる工夫(楽しいこと、健康に良いと思ってもらえること)が必要。
- ・地域住民を巻き込んだ活動や、外に対しての発信など、地域に貢献できるような活動であってほしい。
- ・自治会及び地域住民とのコミュニケーションが大事。
- ・区役所、ケアプラザとの連携が必要。
- ・掲示板の利用、回覧板は3か月前には情報を発信する。
- ・LINE等の活用、会議をリモートにする等。
- ・住民の方々に保活をアピールし、広く参加する仲間を増やす機会を広げること。

- ・幅広い年代の方が参加できる方向を探りたい。
- ・次世代の方達の参加を促すこと。
- ・一緒に活動しているメンバーと良い関係を築く事が、楽しく活動出来ていると感じる大きな要因と思う。
- ・年一回行われる研修会は勉強になるので、保活になって良かったと思う。
- ・交付金はきちんと使われているのかチェックした方がいい。
- ・保活の名称が固く、活動内容や目的が分かりにくい。
- ・まずは自分の健康の保持増進を図り、積極的に地域活動に参加し、現状を把握すること。
- ・断り切れずに保活になったが、担ってみると自らの為でもある事を実感。実感を周りに伝えている。